

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 酢酸ビニルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号 No. 2001-生28

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 酢酸ビニル
- 2) 暴露方式： 止水式 (密閉容器使用)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48 時間
- 5) 試験濃度(設定値)：
対照区, 5.6, 10, 18, 32, 56, 100 mg/L
公比; 1.8
- 6) 試験液量： 100 mL/容器
- 7) 連数： 4 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 20頭/濃度区 (5頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1 °C
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： GC-MS法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度は設定値の±20%を超えたため、各影響濃度の算出には測定値の幾何平均値を採用した。

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	: 13.4 mg/L (95%信頼区間 : 11.3 ~ 15.7 mg/L)
0%阻害最高濃度	: 6.17 mg/L
100%阻害最低濃度	: 39.7 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	: 9.22 mg/L (95%信頼区間 : 7.96 ~ 10.6 mg/L)
0%阻害最高濃度	: 3.14 mg/L
100%阻害最低濃度	: 20.6 mg/L